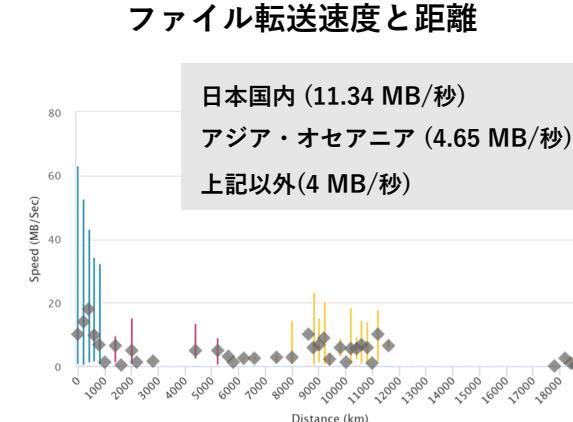
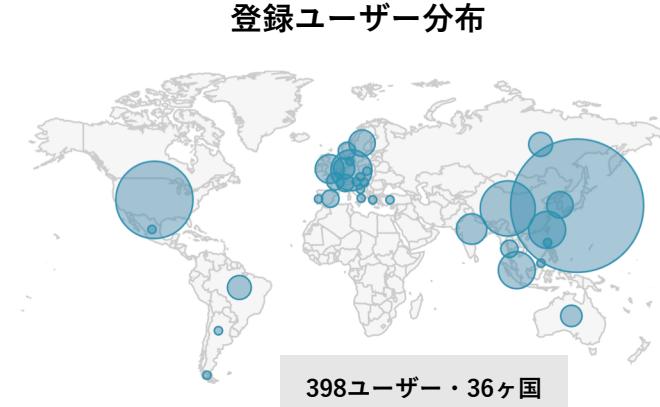
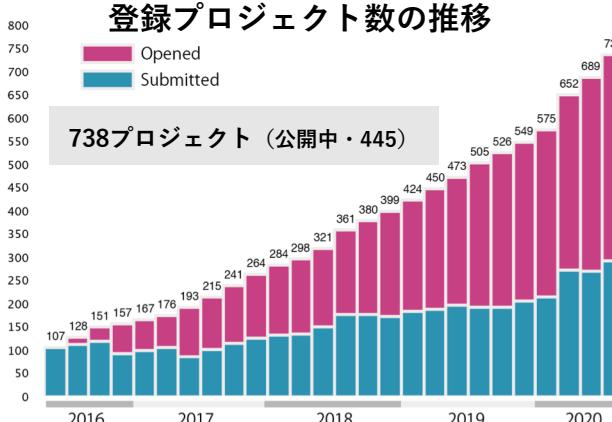
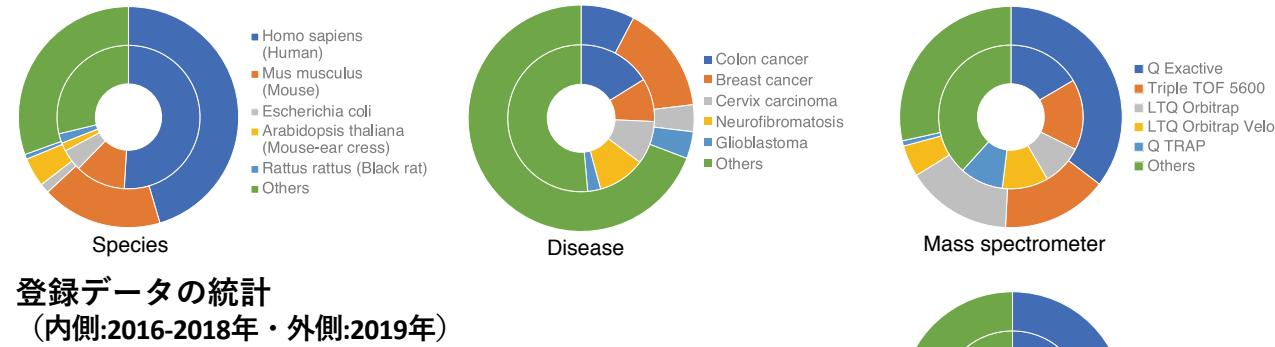




○渡辺由¹⁾, 奥田修二郎¹⁾, 守屋勇樹²⁾, 河野信^{2,3)}, 松本雅記¹⁾, 高見知代¹⁾, 小林大樹¹⁾, 幡野敦¹⁾, 山ノ内祥訓⁴⁾, 荒木令江⁵⁾, 吉沢明康⁶⁾, 田畠剛^{6,7)}, 岩崎未央⁷⁾, 杉山直幸⁶⁾, 田中聰⁸⁾, 石濱泰⁶⁾

1)新潟大学大学院医歯学総合研究科 2)情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設ライフサイエンス統合データベースセンター 3)富山国際大学現代社会学部
4)熊本大学医学部附属病院 5)熊本大学大学院生命科学研究部 6)京都大学大学院薬学研究科 7)京都大学iPS細胞研究所 8)Trans-IT

jPOST repository(<https://repository.jpostdb.org/>)は2016年5月に公開された、プロテオーム関連実験から得られたデータを登録・公開するためのリポジトリサービスで、これまでに約62000ファイル・23.7TBのデータが投稿されている。国際標準のデータリポジトリシステムを提供するProteomeXchangeコンソーシアムに加盟しており、共通のアクセスション番号を発行する。



国際標準APIへの対応

HUPO-PSIが提唱するデータ横断検索仕様PROXIに準拠したAPIの開発と、リポジトリに登録済みデータのUSI(Universal Spectrum Identifier)化。



受け入れ可能データの拡充

新しい質量分析データ解析ソフトウェアやフォーマットで出力されたファイルに対応。受け入れ可能なデータを広げた結果、クロスリンクのあるペプチド試料の質量分析や再解析後のデータの検証・受入れが可能となった。

LSDBアーカイブとの連携

2019年11月より、NBDCが運営するLSDBアーカイブに、全ての公開済みデータを提供している。これによりデータの冗長性・可用性が向上した。



本プロジェクトは、科学技術振興機構(JST)・バイオサイエンスデータベースセンター(NBDC)の「統合化推進プログラム」の助成により実施しました。

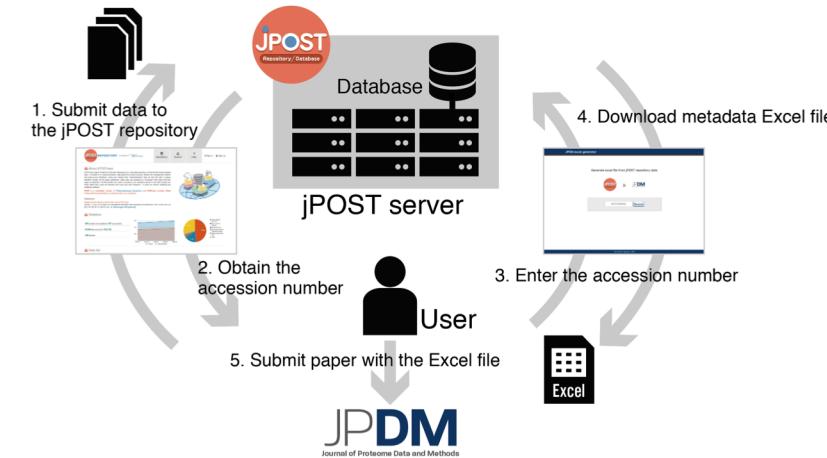


<https://repository.jpostdb.org/>

JPDM (Journal of Proteome Data and Methods) 用データのエクスポート

リポジトリで入力されたメタデータから、JPDMでの論文投稿に必要な情報を自動生成する機能を追加 (<https://repository.jpostdb.org/jpdm-excel/>)。

JPDM (Journal of Proteome Data and Methods) はjPOSTのメタデータ完全版の収録を一つの目的として2019年に創刊されたプロテオームのデータジャーナルであり、JPDMへの論文投稿とメタデータの質向上に貢献する。



jPOSTrepo: an international standard data repository for proteomes
S. Okuda et al., Nucleic Acids Res., 45:D1107-D1111 (2017).

The jPOST environment: an integrated proteomics data repository and database
Y. Moriya et al., Nucleic Acids Res., 47:D1218-D1224 (2019).

2019 annual report of the jPOST repository
Y. Watanabe, S. Okuda, J. Proteome Data and Methods, 2:1 (2020).